

カメムシ類の防除対策情報

令和7年7月1日

栗原市水稲カメムシ被害抑制対策本部
栗原市農業振興協議会
宮城県米づくり推進栗原地方本部

6月6日に栗原市内の水田畦畔や牧草地において、斑点米カメムシ類のすくい取り調査を実施しました。結果は、越冬世代の成虫と春に孵化した幼虫が確認されました(表1)。

今後、斑点米カメムシ類が雑草地や牧草地で増殖し、出穂期には本田への侵入が心配されますので、より一層の警戒と徹底防除が必要となります。

防除対策

★一斉草刈りの実施！

水田畦畔や周辺雑草地・牧草地等の草刈りを出穂10日前までに行い、斑点米カメムシ類の生息密度を減らしましょう。

イネ科雑草、牧草等(特に出穂した雑草等)がカメムシ類の繁殖源になります。

★イネの出穂期前後の草刈り自粛！

7月24日(木)から8月22日(金)までは草刈りを自粛しましょう。

イネの出穂期前後に雑草や牧草を刈り取ると斑点米カメムシ類を水田内に追い込み被害を助長します。

★イヌホタルイやノビエなど水田内雑草の除草！

水田内の雑草はカメムシ類の水田への侵入を助長するので、できるかぎり除草に努めましょう。残草しているほ場では1回目の薬剤防除を出穂始から穂揃期に実施しましょう。

(表1)

水田畦畔調査場所	地点数	カメムシの種類と捕虫数				牧草等調査場所	地点数	カメムシの種類と捕虫数			
		アカスジカスミカメ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	その他	幼虫			アカスジカスミカメ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	その他	幼虫
築館	1	0	3	0	2	築館	1	0	2	0	0
若柳	1	0	0	0	0	若柳	1	0	0	2	0
栗駒	1	1	3	0	18	栗駒	1	2	2	2	22
高清水	1	0	2	0	1	高清水	1	3	4	1	0
一迫	1	0	0	0	4	一迫	1	10	0	4	98
瀬峰	1	2	0	0	2	瀬峰	1	0	4	0	6
鶯沢	1	2	2	1	33	鶯沢	1	3	4	3	31
金成	1	2	2	7	15	金成	1	5	7	4	12
志波姫	1	2	0	0	13	志波姫	1	4	0	0	2
花山	1	0	0	0	0	花山	1	0	0	0	4
令和7年 地点平均		0.9	1.2	0.8	8.8	令和7年 地点平均		2.7	2.3	1.6	17.5
令和6年 地点平均		1.2	1.6	0.3	10.5	令和6年 地点平均		8.6	4.3	3.2	9.3
前年比		75%	75%	267%	84%	前年比		31%	53%	50%	188%



アカスジカスミカメ



アカヒゲホソミドリカスミカメ



斑点米カメムシ類の被害粒

薬剤防除

★穂揃期とその7～10日後の2回、薬剤防除を行いましょう。

★地域一斉防除に努めましょう。個人防除でも近いほ場同士では防除時期を揃えましょう。

(表2) 斑点米カメムシ類の防除薬剤

栽培区分	1回目	2回目
慣行栽培米	・キラップ粉剤DL ・キラップフロアブル	・トレボン粉剤DL ・トレボン乳剤
環境保全米	・キラップフロアブル (無人航空機)	・トレボンスカイMC (無人航空機)

- ・農薬の飛散・ドリフト対策に努めて下さい。
- ・農薬は、ラベルを良く読み、使用時期・使用量を守って適正に使用しましょう。
- ・農薬登録は令和7年6月6日現在のものです。最新の登録情報を確認して使用願います。

【栗原市民のみなさまへ】

★広域の一斉防除が実施されます。(無人航空機による薬剤散布作業)

8月上旬から8月下旬にかけて市内の水稲作付ほ場で、無人航空機(無人ヘリコプター、ドローン)による薬剤散布作業が行われます。作業は事故防止、農薬飛散防止に努めて行われますが、安全のため作業者および無人航空機に近づかないよう、市民のみなさまにはお願い申し上げます。

地区毎の詳細い作業実施日については、新みやぎ農業協同組合の各地区営農センターまでお問い合わせ下さい。

(問い合わせ先)

栗原市農林振興部農政園芸課および各総合支所市民サービス課産業建設係

栗原市農業委員会

新みやぎ農業協同組合栗っこいわでやま統括営農センター営農支援課および各地区営農センター

宮城県農業共済組合県北支所

宮城県栗原農業改良普及センター